

## 粕屋新光園 親子・講堂棟



(南側鳥瞰パース)

### ■事業概要

平成24年度から建替工事を行い、第3期工事で、入所する子供たちの生活の場となる親子・講堂棟を建設しました。

敷地に高低差があるため、外来棟（5階建て）の3階部分と同レベルの高さに平屋建てで計画しています。

バリアフリーにより子供たちが安全に暮らせるのは勿論のこと親子の生活の場として「家」をイメージした暖かみを感じられる空間となるよう木質化にも努めています。

食堂の天井には垂直開閉式ガラストップライトを採用し、室内に自然通風・採光を取り込んでいます。また、講堂や入所保育室から直接外へ出られる中庭にはウッドデッキとゴムチップを使用し、歩行訓練にも利用できるようにしています。



(中庭)

### ■工事概要

所在地：糟屋郡新宮町緑ヶ浜4丁目

構造階数：鉄筋コンクリート造  
地上1階建て

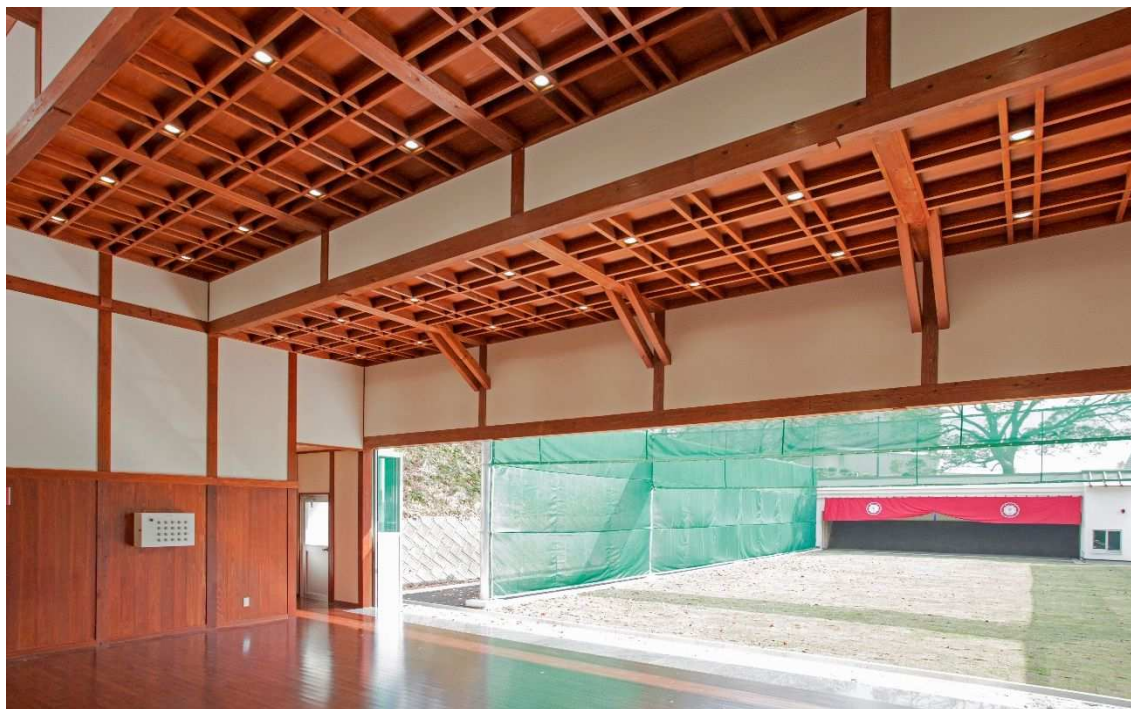
延床面積：887.37㎡

竣工年月：平成29年8月

工事原課：福祉労働部障がい福祉課

※令和元年10月1日に、「福岡県こども療育センター新光園」と改称

## 福岡女子大学 弓道場



(内観)

### ■事業概要

福岡女子大学の施設整備は、平成24年度の第1期工事に始まり、弓道場を含む第4期工事を経て平成29年度に完成しました。

弓道場は、正門から本部および講義棟へ向かうメインストリートから枝分かれして、キャンパスと学生寮を結ぶ構内通路に沿って立地しています。木造の平屋で、内装も県産木材のスギ、ヒノキ、マツを使用しています。

### ■工事概要

所在地：福岡市東区香住ヶ丘1丁目

構造階数：木造

地上1階建て

延床面積：162.54㎡

竣工年月：平成29年10月

工事原課：人づくり・県民生活部

私学振興・青少年育成局政策課



(外観)



## 福岡高等技術専門校 本館棟／実習棟



(南西側鳥瞰パース)

### ■事業概要

本施設が建築された千早駅周辺は香椎副都心計画の活動核にも位置づけられており、商業施設や高層建造物が多く立地しています。そのため、周辺環境に調和する「ものづくりの知識・技術・実践の統合を象徴する建築デザイン」をコンセプトに技術者の育成だけでなく、施設見学などを通して地域への情報発信も行っています。



(コンセプトイメージ図)

### ■工事概要

所在地：福岡市東区千早4丁目

#### 【本館棟】

構造階数：鉄筋コンクリート造  
地上5階建て

最高高さ：21.1m

延床面積：3,313㎡

竣工年月：平成30年1月

#### 【実習棟】

構造階数：鉄筋コンクリート造  
地上4階建て

最高高さ：24.5m

延床面積：7,251㎡

竣工年月：平成30年1月

工事原課：福祉労働部職業能力開発課



(南側外観)

建物外壁は、柱と庇を用いた格子状デザインで構成しており、太いフレームは力強さを、細いフレームは繊細さを表し、福岡県のものづくり精神を象徴しています。

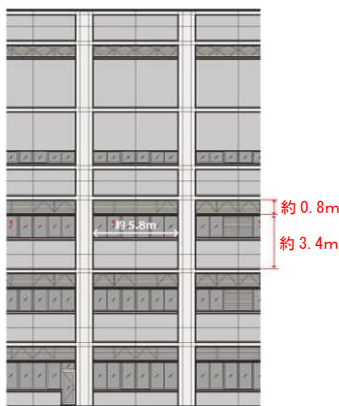
また、端正な横基調のグリッドフレームは、大小の異なる建物をヒューマンスケールで統一することで、街並みへの調和に配慮しました。

座学・実技実習・体育館と大小さまざまな空間が混在する複雑な建物形状を統一のファサードデザインで包み込み、どの角度から見ても福岡高等技術専門校と分かる外観にしています。

色彩は、高等技術専門校のもつテクニカルなイメージを表現するために、比較的クールな配色にすることで福岡校の存在感を示しつつも、周辺のアースカラー系の建物と違和感なく調和する計画としています。



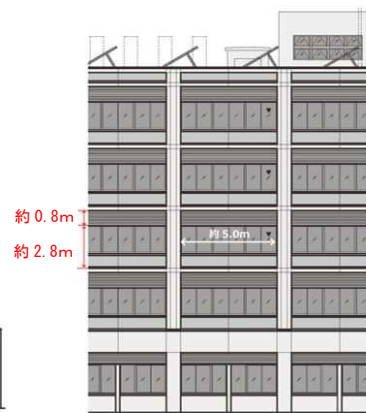
(東南側外観)



実習棟南面

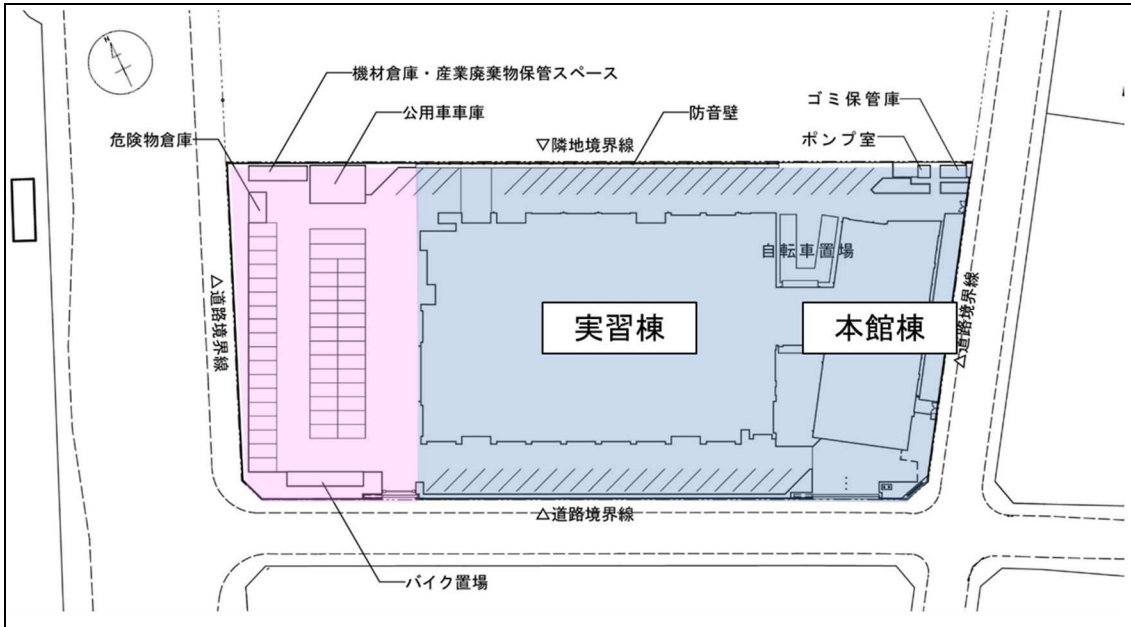


本館棟南面



本館棟東面

(グリッドフレーム解析図)



(配置図)

建物の外観および内観に、福岡県のものづくり精神を継承する仕掛けとして、外壁の色彩計画やルーバーのデザインソースに伝統工芸を取り込んでいます。

また、県産材による木質化を推進するため、本館内部の天井や壁、エントランスや外壁は杉板を積極的に取り入れました。



(体育館)



(本館棟教室)



(本館棟1階 エントランスホール)



(実習棟西側)

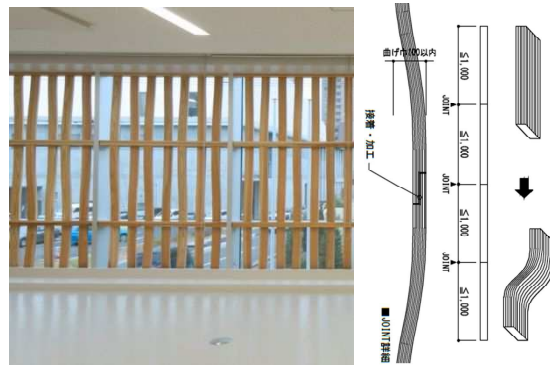


福岡県の伝統工芸である「博多曲物」をモチーフに、県産積層材を曲げ加工したルーバーを本館2階のカーテンウォール内側に設けています。

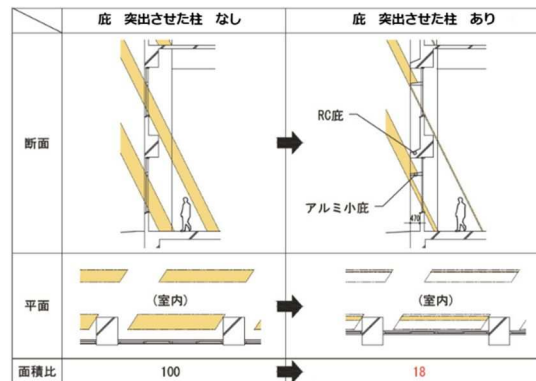
環境に配慮するため、庇および外壁から突出させた柱により南面から入る日射を軽減する計画としています。日差しによる温熱環境への影響が大きい夏の午後の場合、庇や外壁から突出させた柱がない場合と比べて床面の直射面積を約80%軽減することができます。

実習棟は、訓練実施により騒音や振動等の影響を極力与えないような構造計画としています。内装は、建物が教材となるよう構造躯体やダクト・配管等の設備が可視化できるような仕上げとしています。

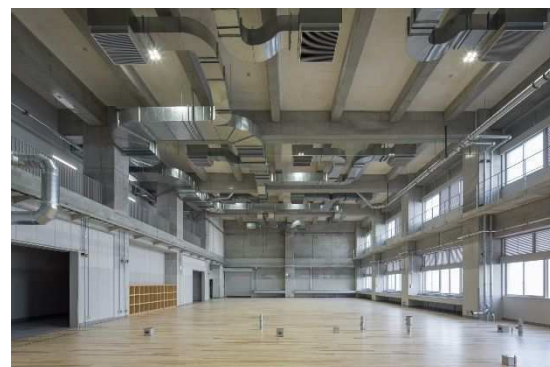
また、教育施設として相応しい設備計画として工業系職業訓練校の学びの仕組みも盛り込み、実習棟内のダクトおよび配管に用途表示や、メインのPS、DS等に内容物の表示をすることで生徒への情報発信と管理・メンテナンスのしやすさの向上も兼ね備えています。



(2階 会議室／ルーバー加工法)



(日射軽減率比較表)



(実習棟3階 実習場 (建築科))



(実習棟3階 実習場 (冷凍空調システム科))



(実習棟 屋上)